

# 学校便り

滑川市立西部小学校 R5.3.15

学校教育目標「三つの花」を咲かせる西部っ子 芝生



にここ花 楽しくあいさつができる子  
ほかほか花 相手の心を思いやることができる子  
きらりん花 キラキラと自分らしく輝く子

## 感謝の気持ちを込めて

校長 村杉 一也

早いもので令和4年度もあと数日を残すのみとなりました。この3年間は、今まで当たり前に行われていたことが当たり前に行うことができなかつた日々でした。それでも目の前には大切な子供たちがいてくれました。学校という存在の責任の大きさと、学びの場をなくしてはいけないという気持ちの大切さを実感しています。

さて、3月17日には、72名の自慢の6年生が西部小学校を巣立ちます。いよいよこの学舎を巣立ち、中学校という階段を上がる時がやってきました。この一年間、6年生は下級生の憧れの存在であり続けました。運動会でも学習発表会でも、仲間と力を合わせればこんなに素晴らしいものが生まれることを身をもって教えてくれました。ひたむきにがんばる姿そのものが、西部小学校に残してくれた校風です。最高学年として仲間と力を合わせてがんばる姿を後輩にしっかりと示し、校風に新たな風を吹き込んでくれた子らに心から感謝します。

そして、ありきたりの言葉ですが、中学校に進む6年生には夢や目標をもって生きてほしいと願っています。毎日小さな目標を積み重ねていけば、やがては夢も手の届くところまで近付いてくるでしょう。たとえその夢が思い通りに実現しなくとも、きっとそれに向かって、こつこつ努力している自分を好きになることができるでしょう。自分がとことんやってみて手の届かなかつた夢や目標なら、いさぎよくあきらめることができます。次の目標も生まれてきます。

お父さんやお母さんをはじめとして、多くの大人に温かく関わってもらったこれまでとは違い、独り立ちを求められる前途には辛いことや苦しいことの方が多いかもしれません。しかし、6年生が後輩に示してくれたこのひたむきさを武器に、逃げ出さずに前を向いて、人生の荒海にこぎ出してほしいと願っています。卒業生が壁にぶつかりながらもなお大きくなっていくことを楽しみに、これからもずっと応援しています。また、在校生も一つずつ学年が上がります。一つ一つ、しっかり振り返りながら自分の成長を実感し、新しい西部小学校をつくっていったくれるものと期待します。

結びに、見守り隊、こども110番の家等の皆様、毎日、子供たちの安全を見守っていただきました。皆様方のおかげで子供たち全員、事故に遭うこともなく安全に安心して登下校できました。深くお礼申し上げます。また、ここまで、過ごせてこられたのは、西部っ子を愛する本校職員の「熱意」「探究心」とともに、保護者や地域の皆様の「子供愛」「学校愛」の賜であると感謝しています。皆様からいただいた温かいご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き本校の教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。一年間、大変ありがとうございました。